

令和5年度診療科別目標発表



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

整形外科

医師の紹介



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

整形外科



	氏名	役職等
1	星野 裕信	副院長（経営・医療情報担当）、 整形外科科部長、 医療情報センター所長 日本整形外科学会代議員 日本整形外科学会認定整形外科専門医 日本人工関節学会認定医 日本骨粗鬆症学会認定医 日本股関節学会技術認定取得医
2	鈴木 希央	科長 日本整形外科学会認定整形外科専門医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科専門医・ 指導医
3	青木 健太郎	科長 日本整形外科学会認定整形外科専門医
4	南波 光洋	医長 日本整形外科学会専門医
5	猿渡 幹	医員 日本整形外科学会専門医
6	植松 駿一	医員
7	野田 健人	医員
8	村松 慎也	医員（県派遣医師）

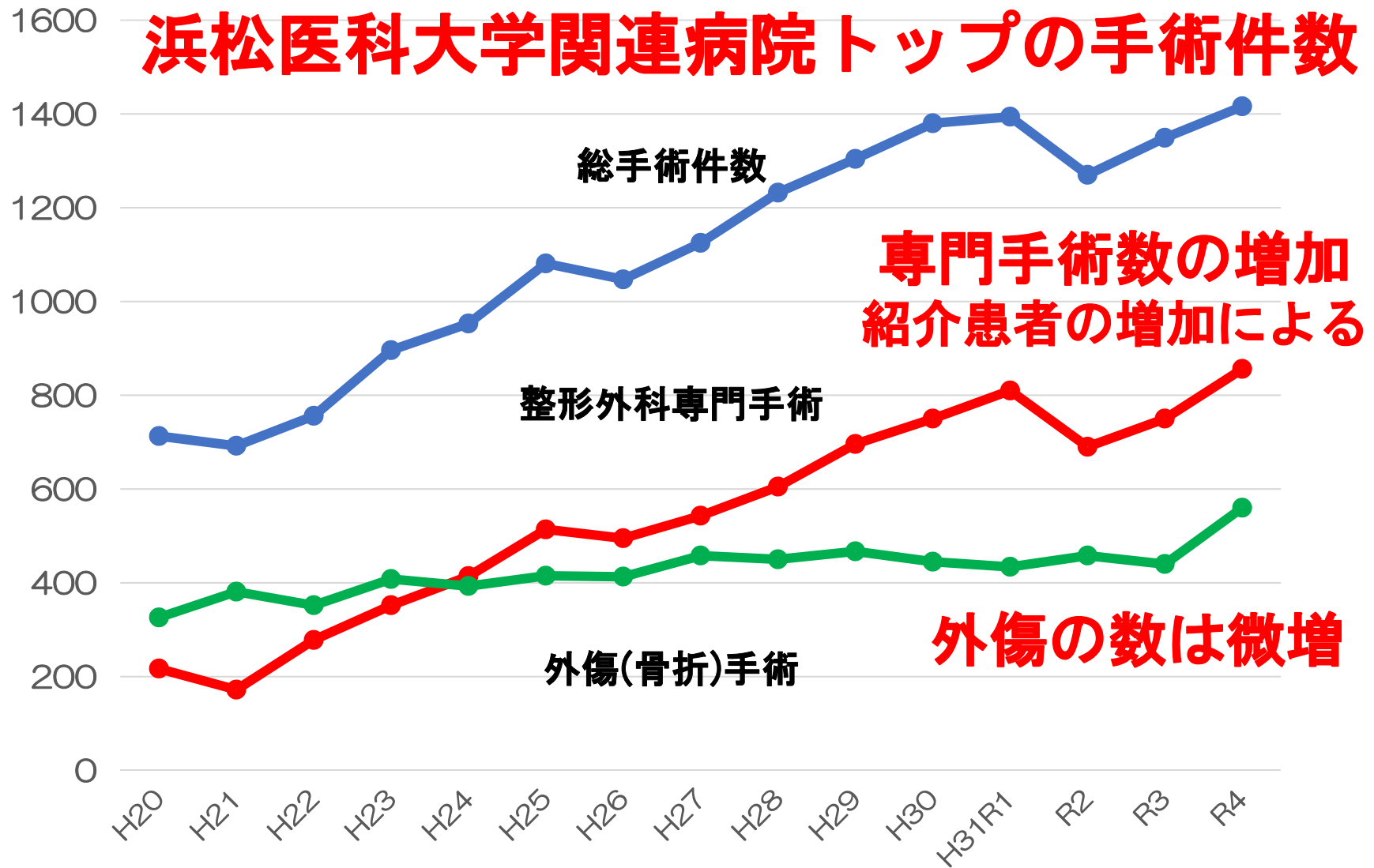
藤枝市民の運動器を守る

経営への貢献

藤枝から全国へ発信

H20年からの手術件数の推移

浜松医科大学関連病院トップの手術件数



今年度から大きく変わります



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

整形外科の責任者が交代となりました。

今年度からの強み

藤枝、焼津、島田、吉田町、榛原、御前崎

股関節の専門医がいない

静岡県内に

股関節鏡視下手術の専門医がいない

股関節の専門手術が激増

股関節の手術は診療報酬点数が高い

人工股関節置換術（37690点）

人工股関節再置換術（54810点）

関節鏡下股関節唇形成術（44830点）

寛骨臼移動術（40040点）

年間200件の人工股関節置換術

手技料 75,380,000円

専門手術の目標

人工膝関節 年間 100 件
 人工股関節 年間 200 件
 脊椎手術 年間 100 件

膝関節鏡視下手術の増加
 股関節鏡視下手術の増加

400

350

300

250

200

150

100

50

0

H20

H21

H22

H23

H24

H25

H26

H27

H28

H29

H30

H31R1

R2

R3

R4

R5~

■ 膝関節

■ 手/肘/神経

■ 股関節

■ 脊椎

■ 肩関節

■ 足関節/足



今年度の課題

- ・ 2023年8月 手外科医の退職
手の専門手術、手の高度外傷に対応できていない

2024年度に手外科医の補充

- ・ コロナ禍で3年間休止していた
開業医との病診連携の会の再開

2023年9月6日に開催 今後から年2回の開催予定

病診連携室主導で

**県内のみならず県外からの紹介患者を
受け入れる体制の構築**



全国へ発信

第3次中期経営計画との関連①



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

救命救急センターの機能強化・充実

- 救急部のドクターとの連携を強化して骨盤骨折、脊椎外傷、高度四肢外傷に対応していく

住み慣れた地域で安心して暮らせる医療提供体制の構築

- 高齢者の大腿骨近位部骨折での骨折リエゾンサービス (FLS)の構築

二次性骨折予防継続管理により回復期、維持期（開業医）への連携強化。

地域医療連携推進法人の構築と活用

骨折手術後の早期転院の促進

緊急整復固定加算、緊急挿入加算の取得（4000点）

急性期充実体制加算との連動

第3次中期経営計画との関連②



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

持続可能な経営基盤の強化

・ より質の高い医療の提供

人工関節 コンピューターナビゲーション加算の取得強化
低侵襲 関節鏡視下手術の増加

・ 職員の経営意識の醸成

診療報酬レセプトのチェック強化 査定を限りなくなくす

・ 積極的な情報の発信

市民公開講座やマスメディアでの発信

魅力的なホームページ作り

学会・講演活動で藤枝市立総合病院をアピール

魅力的な職場環境の整備

・ 2024年4月からの働き方改革への対応

スタッフ相互で仕事負担軽減をはかる
時間外勤務の監視強化と指導

藤枝市立総合病院 整形外科のチカラ

整形外科の集客力・業績のアップ

学会活動

講演会

全国へ発信

Summary

**藤枝市立総合病院
整形外科**

藤枝市民の運動器を守る

病院経営に大きく貢献

**藤枝市立総合病院を
全国に発信**